

手書きだからこそ

ペニネーム あおい さら

ぐるぐるの線が二つ。フアッ、フス、流れイ
きた。

試し書きかと思ったら、友人の愛娘が描い
たクマちゃんとのクマの絵だという。

そうと思えば、熊と友人の顔としか見えな
いから不思議だ。

面白いのでは。絵手紙ご、こを繰り返すうち

に、覚えてた1のひらがなを書いた。最初
は自分の名前を。そーそ間もなく、好きな食
べ物や遊びの事も。

11手紙だ、な。と、しばらく見とれていた。
これ、1あ、2だ、3う、か、1ま、2だ、3う、か。

いやいや、1ゆ、2か、もしれ、1い。
内容と照らし合わせて推理するのにも楽しい。

反対向きの字も、ど、ち、に、曲、け、よう、か、送、っ、て
書いたものもある。たと、た、ど、し、い、文、字、の、一、つ

一つが、あのね、あのね、と懸命に話しかけ

てくる。

うれしい気持ちでいっぱいになった。子供

と一緒にいる。心いっしょに成長するんだらう。

初めて会った時、小さな手にたまりを握

り締め、眠った。その同じ手は今、

ペンを握り、次々と言葉を吐き出している。

子供の無い私が、こんな幸せな体験をする

なんて……

幼い彼女も、いつか携帯電話を持つ日が

くるのだらう。あんなにかわいの手紙を書い

たことなんてすっかり忘れて、手書きなんて

古くて面倒と思うようになるのかもしい。

最近、メールの方が便利だし気持ちがいい。

伝わるという人が多いけれど、書く手間があ

るからこそ伝わる大切なこともある。それを

改めて教えてくれたのだから、笑ってあげよう。

と、いつか伝えたい。

これからは、ゆくりゆくり大人になる、

もう少し付き合おうね、と思っている。